

Q5. もし結核になってしまったら？

A. その1 結核の感染と治療

結核と診断されても、6か月から9か月間、毎日きちんと薬を服用すれば治ります。

排菌（はいきん）していて周囲の人に感染させる可能性がある場合は入院治療となりますが、排菌（はいきん）がなくなった場合には、退院し外来治療となります。

治療期間が長いため、症状がよくなったからといって、薬を飲んだり飲まなかったり、止めたりすると、薬が効かなくなってしまうことがあります。

医療機関や保健所では、患者さんが服薬する様子を目の前で確認するDOTS（ドッツ：直接服薬確認療法）等、治療を確実にするための支援を行っています。

治療が終了し学校や職場に戻ってきた患者さんからは、周りに感染させる心配はありません。患者さんを温かく迎えてください。



その2 医療費の公費負担制度

感染症法^{*2}の規定により結核と診断され治療が必要となった方は、申請により、医療費の一部又は全額について公費負担の利用が可能です。詳しくは、お住まいの区の保健所支所（保健福祉センター）の窓口へお問い合わせください。

^{*2} 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

*「結核患者医療費公費負担申請書」について、詳しくは仙台市ホームページをご覧ください。



その3 接触者の健康診断（接触者健診）

結核と診断された方の身近にいる方は、結核に感染している可能性があるため、保健所から必要な方に、健康診断（接触者健診）のお知らせをします。接触者健診の費用は無料です。

健康診断（接触者健診）の結果、発病はしていないものの結核に感染しており、潜在性結核感染症と診断された場合には、発病を予防するための薬を飲む場合があります。

結核についてのご相談・お問い合わせは お住まいの区の保健福祉センター管理課へ

- 青葉区役所（保健福祉センター管理課）…………… TEL.022-225-7211(代)
- 宮城野区役所（保健福祉センター管理課）…………… TEL.022-291-2111(代)
- 若林区役所（保健福祉センター管理課）…………… TEL.022-282-1111(代)
- 太白区役所（保健福祉センター管理課）…………… TEL.022-247-1111(代)
- 泉区役所（保健福祉センター管理課）…………… TEL.022-372-3111(代)

■ 詳細情報

(公財)結核予防会 結核研究所 <https://www.jata.or.jp/>



仙台市健康福祉局保健所感染症対策課
TEL:022-214-8029 / FAX:022-211-1915
<https://www.city.sendai.jp/>

過去の病気
では
ありません！

知っていますか？
結核のこと

結核は、明治時代から昭和20年代までは「国民病」と恐れられ、昭和25年までは死亡原因の第1位でした。現在は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できるようになりましたが、日本では今でも1日28人の新しい患者が発生し、年間1600人以上（1日あたり約4人）の方が結核のため亡くなっています。

令和5年に、全国で新たに登録された結核患者数は、前年から約100人減少し、結核り患率（人口10万人対の新登録結核患者数）も前年の8.2から8.1^{*1}となり、減少傾向が続いています。

しかし、今でも年間1万人以上が新たに結核を発病しており、だれもが感染する可能性がある病気であることには変わりありません。結核患者の減少とともに結核への関心が薄れ、結核を発病しても気づかずに受診が遅れることも少なくありません。

結核についての正しい知識をもち、結核の予防と早期発見に努めましょう！

◆ 仙台市の結核発生状況 ◆

令和5年中に、仙台市で新たに登録された結核患者数は51人^{*1}（うち外国出生者12人）（表1）で、結核り患率は4.6^{*1}でした。全国の8.1^{*1}と比較すると低い状況になっています。（図1）

また、仙台市で新たに登録された結核患者は、高齢者（65歳以上）が約6割を占めている一方、10～30歳代の若い世代も約2割を占めています。（図2）

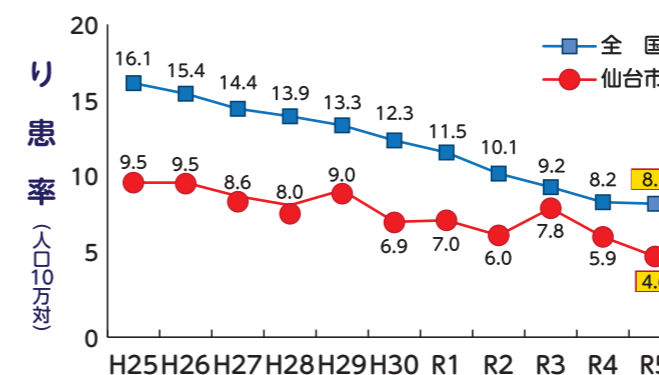
^{*1} 令和5年の各数値は、結核登録者情報調査年報による概数。

▼ 表1 | 新登録患者数の推移

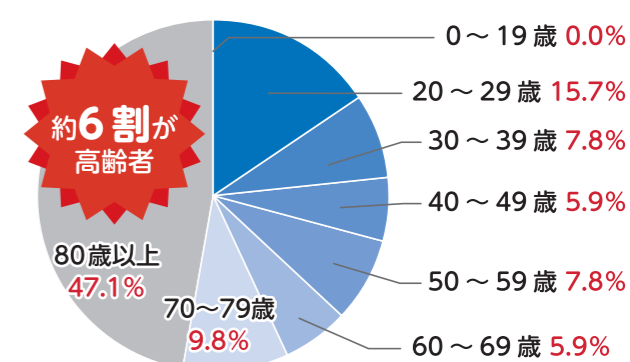
^{*2}H26年の外国出生者数についてはデータなし（単位：人）

地域	年	平成26年	27年	28年	29年	30年	31年 (令和元年)	令和2年	3年	4年	5年
仙台市 (うち外国出生者数)		102 (-)	93 (11)	87 (9)	98 (22)	75 (20)	76 (10)	66 (9)	86 (7)	65 (5)	51 ^{*1} (12)
全国		19,615	18,280	17,625	16,789	15,590	14,460	12,739	11,519	10,235	10,096 ^{*1}

▼ 図1 | 結核り患率の推移



▼ 図2 | 令和5年新登録患者年齢階級別内訳（仙台市）^{*1}



■ 全国の状況

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou03/index.html



(公財)結核予防会結核研究所
疫学情報センター

<https://jata-ekigaku.jp/>



仙台市

Q1. 結核ってどんな病気？

A. 結核とは、結核菌を吸い込むことにより、炎症が起こる病気です。結核菌は、全身のどこでも炎症を起こす可能性がありますが、ほとんどは肺です。結核は感染症なので、発病すると周囲の人にうつす可能性があります。結核が進行した方の咳（せき）やくしゃみなどで結核菌が空気中に飛び散り（この状態を「排菌」（はいきん）といいます）、それを周りの人が直接吸い込むことで感染します。ただし、発病しても、排菌（はいきん）していなければ、周囲に感染させる心配はありません。

Q2. 「感染」したらみんな「発病」するの？

A. 結核に感染したからといって、全ての方が発病するわけではありません。通常は、免疫力により結核菌が増えるのを抑えられますが、免疫力が低下して、結核菌が体内で活動を始めた場合に発病します。発病とは、感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増え、体の組織をおかしていくことです。感染した人が発病する確率は、10～20%といわれています。発病する方は、感染後6か月から2年後位に多く見られますが、中には、数年から数十年後に発病する方もいます。

Q3. 予防方法は？

A. **その1 BCG 予防接種**
BCGは、結核の重症化を防ぐワクチンです。特に子どもの結核予防に有効で、安全な予防接種として世界で広く用いられています。乳幼児は抵抗力が弱く、結核菌に感染すると髄膜炎や全身性の結核など重症化することが多いので、1歳の誕生日の前日までの間（標準的な接種期間は、生後5か月から生後8か月に達するまで）に接種しましょう。ただし、BCGの予防効果は10年～10数年程度です。

*「結核の予防接種（BCG）」・「BCG日程表」について、詳しくは仙台市ホームページをご覧ください。



その2 日々の健康管理

結核を予防するためには、免疫力が低下しないように規則正しい生活を送ることが大切です。



十分な睡眠



栄養バランスのとれた食事



適度な運動



禁煙

Q4. 早期発見のためには？

A. **その1 風邪のような症状が2週間以上続いたら医療機関を受診しましょう！**

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳（せき）や痰（たん）、発熱（はつねつ）が2週間以上続いていたら、医療機関を受診しましょう。結核の症状には、この他にも、体がだるい、体重が減る、食欲がなくなる、寝汗をかくなどもあります。高齢になると症状が出にくい場合があるので注意が必要です。早期に発見されれば薬がよく効き早く治りますが、発見が遅れると症状が重症化するばかりでなく、周囲の人に感染させてしまうこともあります。



その2 年に1度は健康診断で胸のエックス線検査を受けましょう！

症状がなくても、定期健診で結核が発見されることがあります。仙台市では市民健診で、胸部エックス線検査を職場などで受ける機会のない40歳以上の市民の方（その年度中に40歳に達する方を含みます）を対象に肺がん・結核健康診断（胸部エックス線検査）を無料で実施しています。

※申し込み方法、日程など詳しくは仙台市ホームページをご覧ください。



BCG予防接種、肺がん・結核健康診断に関するお問い合わせは、お住まいの区の保健福祉センター家庭健康課・総合支所保健福祉課へ

- 青葉区役所（保健福祉センター家庭健康課）……………TEL.022-225-7211（代）
- 青葉区宮城総合支所（保健福祉課）……………TEL.022-392-2111（代）
- 宮城野区役所（保健福祉センター家庭健康課）……………TEL.022-291-2111（代）
- 若林区役所（保健福祉センター家庭健康課）……………TEL.022-282-1111（代）
- 太白区役所（保健福祉センター家庭健康課）……………TEL.022-247-1111（代）
- 太白区秋保総合支所（保健福祉課）……………TEL.022-399-2111（代）
- 泉区役所（保健福祉センター家庭健康課）……………TEL.022-372-3111（代）

守ろう！咳（せき）エチケット



☆咳（せき）やくしゃみの際には、ティッシュやハンカチ、袖で口と鼻をおおい、人から顔をそむけましょう。

☆マスクは、口と鼻の両方をしっかりおおって、正しく着用しましょう。

